



大津町長

金田 英樹

昭和31年の合併により現在の大津町が誕生して以降、豊かな自然と地理的条件に恵まれた交通の利便性を生かし、農工商併進のまちづくりを進め、魅力ある町として発展してきました。

おかげさまで、人口減少・少子高齢化が進む現在の日本において、人口増加が見込める数少ない自治体の一つとなっており、人口35,000人を突破した令和2年以降も人口増加が続き、この勢いはしばらく継続する見込みです。

平成28年熊本地震では、本町も大きな被害を受け、これまで復旧・復興に尽力してきました。令和3年度には、行政・防災の拠点となる新庁舎も開庁し、これまで以上に住民サービス、防災力の向上に努め、安心安全なまちづくりを進めていきます。

また、全世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑えるべく、国や県、医療機関等と連携し、日々変化する状況に柔軟に対応しながら、感染予防や地域経済、町民の皆さまの生活への対策を迅速に講じているところです。

この厳しい状況下において、多種多様な政策を進行し町の将来ビジョンである「夢と希望がかなう元気大津」を実現させるためには、行政の力だけではなく、町民の皆さまとの協働が必要です。地域の声を聴き、意見を交わしながら、まちに関わる全ての人とつくる「新しい大津町」を目指していきます。



町花：つつじ



町木：杉



町鳥：ほおじろ

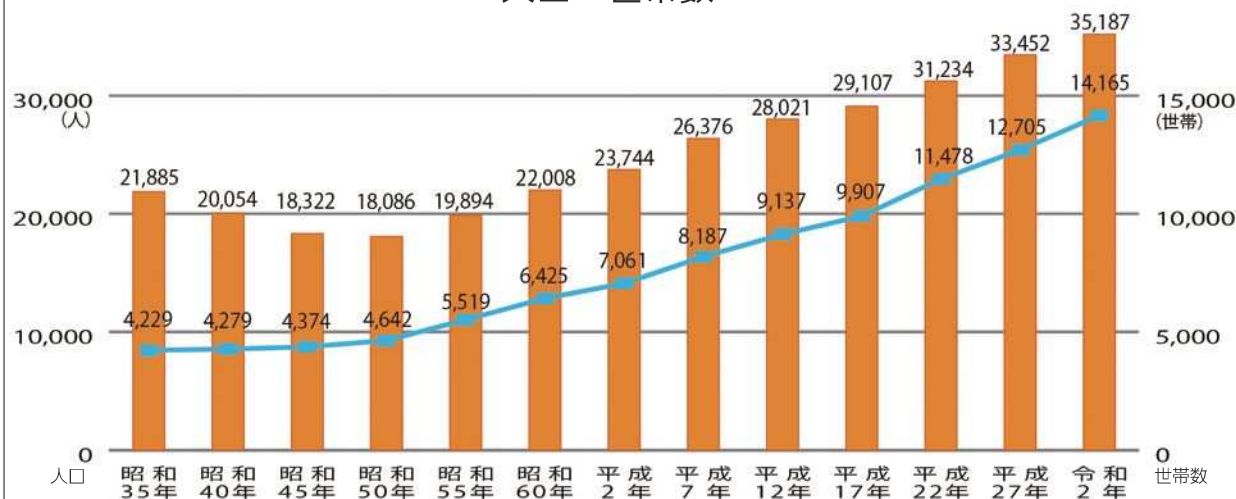
概要

02 Summary

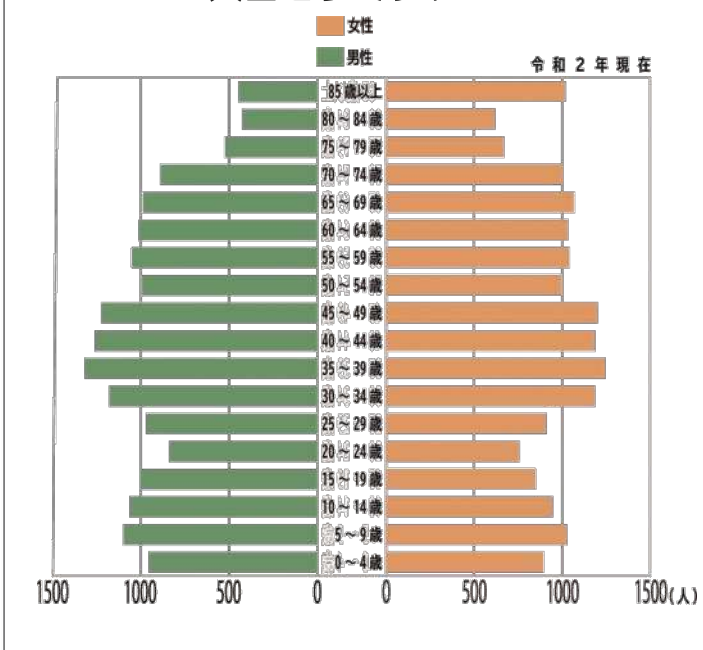
紹介

大津町は熊本市の東 約 19km、熊本市と阿蘇山の中間地点にあります。
阿蘇外輪山麓から西側へ緩やかな傾斜をなして広がる北部畑地帯、阿蘇山を源として東西に貫流する白川の豊かな流れによって南部には肥沃な水田地帯を形成しています。南北に国道325号と東西に国道57号が伸び、熊本駅から大分駅間を結ぶJR豊肥本線が町中心部を東西に横断し、さらには阿蘇くまもと空港や熊本ICにも近く、交通条件に恵まれた町です。人口は令和2年の国勢調査で3万5千人を突破し、今もなお増加を続けています。
町には4つの工業地帯があり、産業の進展、四季折々の自然の風景、人々の暮らしの風景、生活環境基盤の整備など、バランス良く調和し発展を続けています。

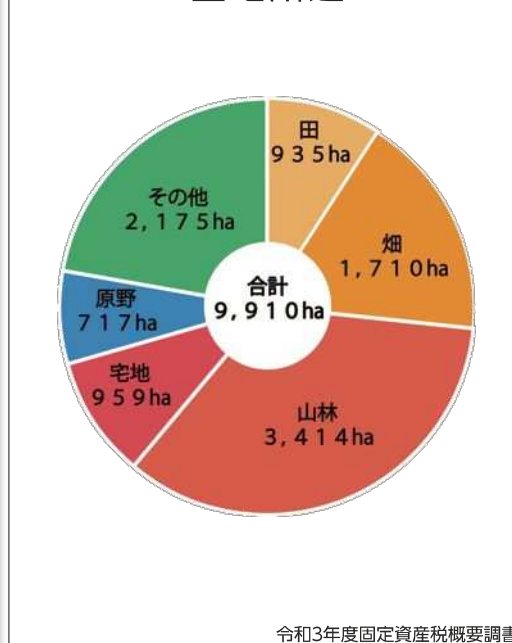
人口・世帯数



人口ピラミッド



土地用途

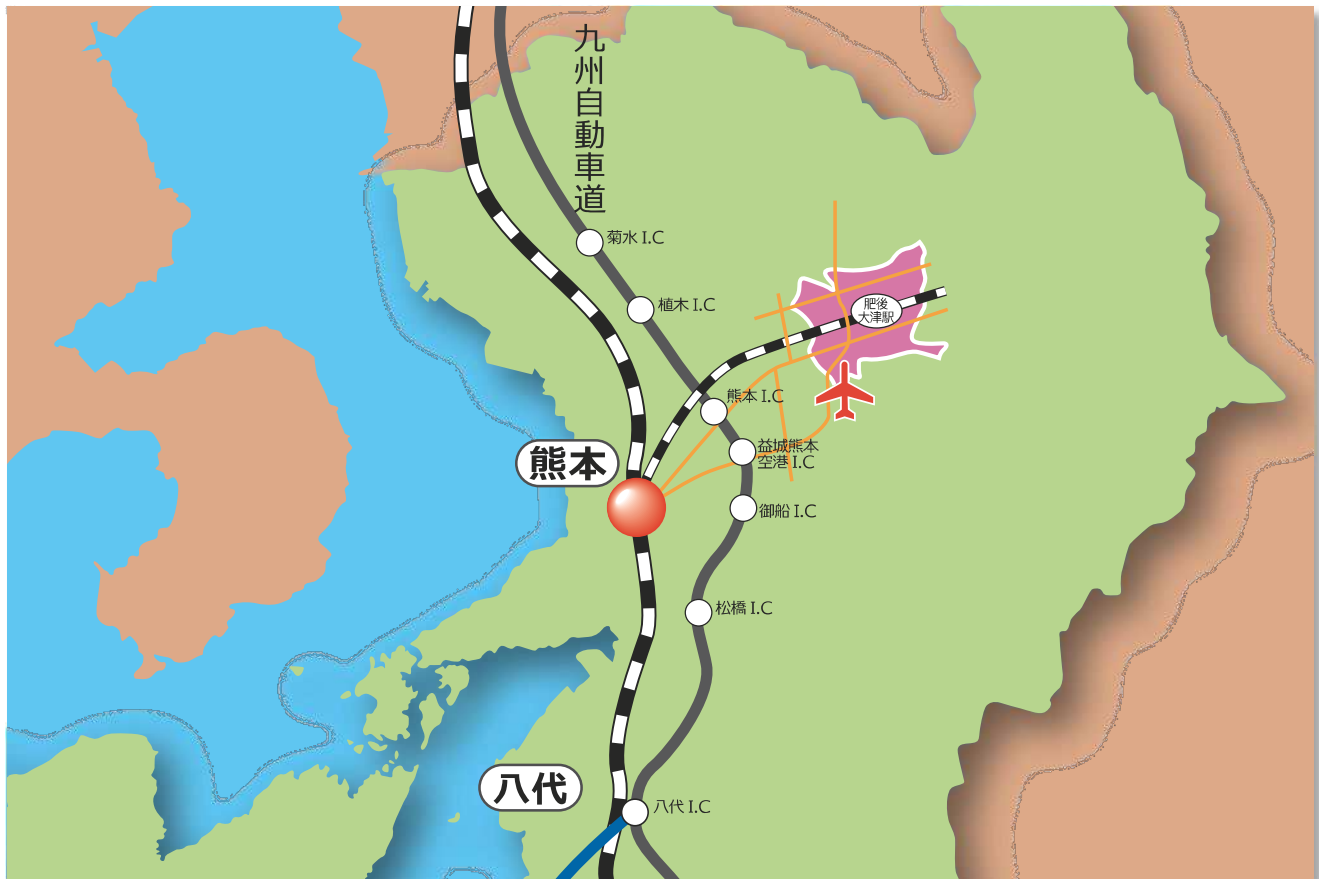




熊本市内から車で約 40 分
九州自動車道熊本 I.C から約 20 分
福岡市内から高速道路利用で約 2 時間



J R熊本駅～肥後大津駅間 40分
新幹線で博多～熊本間 33分
新大阪～熊本間 2時間 58分



国内線 (主要都市)

東京：1 時間 35 分 (21 往復 / 日)
大阪：1 時間 5 分 (12 往復 / 日)
沖縄：1 時間 30 分

国際線

ソウル：1 時間 35 分
高雄：2 時間 50 分
香港：3 時間 05 分
大邱：1 時間 00 分

町の玄関口／J R肥後大津駅
(愛称：阿蘇くまもと空港駅) から
阿蘇くまもと空港までは、
空港ライナーで 15 分！ 無料運行！
1 日 27 往復 54 便が運行しています。

